Topics

JAXAから感謝状を贈呈

2024年5月、同年2月に種子島宇宙センターにて打ち上げに成功したH3ロケットの試験機2号機について、当社のエンジン部品造形用AM粉末がH3ロケットの開発・製造に多大なる貢献があったとして、宇宙航空研究開発機構（JAXA）より感謝状とH3ロケットの模型が贈呈されました。

ロケット模型

感謝状を手にする、柳本常務と山本粉末事業部長

陽鋼物産㈱創立50周年

2024年4月、陽鋼物産㈱が創立50周年を迎えました。周年を記念して、大阪市内のホテルで記念パーティーを開催し、社員および関係者が出席し、社内の懇親を図りました。

集合写真

挨拶する青田社長

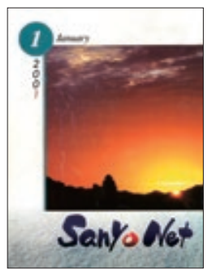
山陽特殊製鋼グループ報「SANYO NET」が600号を突破

2024年9月、1961年に創刊号が発行されてから約63年で600号に到達しました。誌名は「マナスル」→「陽鋼」→「躍進山陽」→「SANYO NET」と変わってきましたが、従業員のコミュニケーションツールとして、変わらず活用されています。時代の変化に合わせて、より良い形での情報発信を模索しています。

マナスル（1961年～）

陽鋼（1966年～）

躍進山陽（1982年～）



SANYO NET（2001年～）

600号

インドSSMIがCII（インド工業連盟）から表彰

2024年10月、インド・ニューデリーで開催された第7回CII GreenPro Summit 2024においてCIIから表彰されました。これは、SSMIの自動車用鉄鋼製品のGreenProエコラベル※認証が評価されたものです。

※GreenProエコラベルは、グローバル・エコラベル・ネットワーク（GEN）の国際協調エコラベル・システムであるGENICESを通じて、GENに認定されており、GreenProエコラベルが貼付された製品は、環境への影響が少なく、グリーンビルディングやグリーン企業のパフォーマンス向上に大きく貢献します。

表彰式 ○SSMI社長のDilipkumar Pachpande(右から3人目)
○Satyajeer Kumar(左から4人目)

Topics

スウェーデンの国王・首脳との交流

2024年12月、ビジネス・スウェーデンとスウェーデン大使館共催のサミットにおいて、スウェーデンと日本のサステナビリティに関するセミナーが開催されました。同セミナーには、スウェーデンのクリステション首相とブッシュ副首相が参加しており、OVAKOに関する意見交換を行いました。

2025年5月には、大阪・関西万博のノルディックサークル(北欧館)において、スウェーデンのカール16世グスタフ国王に謁見しました。

クリステション首相(中央・左)と会話する
八並取締役常務執行役員(右から2人目)

カール16世グスタフ国王(右から2人目)

ブッシュ副首相(右)

技術職新入社員家族工場見学会

2025年3月、コロナ禍で中断していた技術職新入社員家族工場見学会を開催しました。本見学会は、ご家族に新入社員が働く姿をご覧いただき、会社と職場環境を知っていただくことによって、良き理解者として新入社員のこれからの生活を支えていただこうという思いと、各職場に若手社員育成の風土を醸成することを目的として開催しているものです。

大形検査場

3000Tプレス

詰所にて懇談

ご挨拶

パートナーシップ構築大賞 経済産業大臣賞を受賞

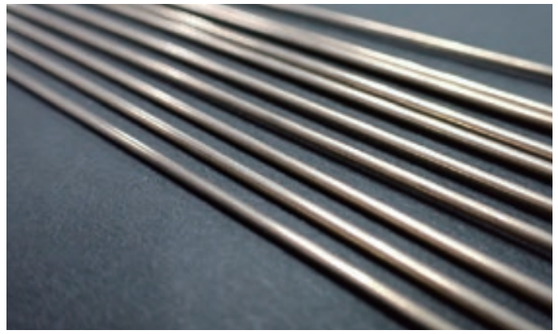
2025年3月、取引先とのパートナーシップ強化を通じたビジネスパートナーの相互発展を目指し、パートナーシップ構築宣言を公表しています。サプライチェーン全体での協力拡大の機運醸成を目的としたシンポジウムが都内で開催され、当社のパートナー企業との取り組みが優秀であると評価され、経済産業大臣賞を受賞しました。当日は、宮本社長(当時)がプレゼンを行いました。

表彰式での 宮本社長(役職は当時・中央)

プレゼン風景

当社電気炉で製造した再生スチールがレース用タイヤに採用

当社、日本製鉄株式会社、株式会社ブリヂストンの3社のビジョンに共通するサーキュラーエコノミーの実現に向け、2020年度から使用済タイヤからタイヤの補強材であるビードワイヤーの製造に挑戦してきました。当社の電気炉工程にて、溶解・精錬して製造したビレット(鋼片)を日本製鉄の設備で圧延・熱処理した製品(再生スチール)が、オーストラリアで開催された世界最高峰のソーラーカーレース「2025 Bridgestone World Solar Challenge」(BWSC)でブリヂストンが提供するBWSC用タイヤに採用されました。



当社および日本製鉄の共創による再生スチール

3社の担当者(中央が河本生産技術部長)

Topics

GHG排出量削減目標SBT(※1)認定を取得

2025年1月、当社は2030年度までのGHG排出量削減目標について、産業革命前からの気温上昇を1.5℃に抑えるための科学的根拠に基づいたものであると評価され、国際的なイニシアティブである「Science Based Targets initiative (SBTi) (※2)」より、国内鉄鋼メーカーとして初めてSBT認定されました。

(※1) Science Based Targetの略称。「パリ協定が求める水準と整合した温室効果ガス排出量削減を目指す、国際的な削減目標」のことであり、5～10年先の目標を設定するもの。「パリ協定が求める水準」とは、「世界の気温上昇を産業革命前より2℃を十分に下回る水準に抑え、さらに1.5℃に抑える努力をすること」をさす。
(※2) CDP、世界資源研究所(WRI)、国連グローバル・コンパクト(UNGC)、世界自然保護基金(WWF)により運営され、企業のSBTを認定する共同イニシアチブ。

SCIENCE BASED TARGETS
DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

兵庫県立大学のネーミングライツを取得

2025年4月、当社は兵庫県、兵庫県立大学とネーミングライツ(施設命名権)に関する契約を締結し、同大姫路工学キャンパスの教育研究棟に看板を設置しました。

看板

ボード

公式マスコットキャラクター「さんとくん」大活躍

2025年4月、兵庫県飾磨警察署主催の春の全国交通安全運動「しかま交通安全フェスタ」が地元ショッピングセンターで開催され、当社から公式マスコットキャラクター「さんとくん」が参加しました。当日は、ご当地キャラとともに、交通安全啓発のお手伝いをしました。公的機関からのオファーは初めてのこととあって、いつもより張り切っていました。

ゆるキャラ整列(さんとくんは右から4番目)

社外取締役と女性社員の対話

2025年5月、女性の独立社外取締役である藤原佳代取締役と宮口亜希取締役と女性社員との座談会を開催しました。エネルギー関連企業で海外調達や企業経営に携わってきた藤原取締役と、大手監査法人で公認会計士として勤務したのち独立された宮口取締役の経験談や、女性社員からの質問に対するアドバイスを行うことで、女性社員のステップアップに資する機会としています。このような取り組みを継続することにより、女性社員が管理職や経営の一翼を担う立場として活躍できるよう、女性社員自身の意識づけや女性が活躍しやすい職場風土づくりを推進してまいります。

社外取締役と話す女性社員